

「イソベっちの、前へ前へポップー！」

2011年8月21日(日曜)

テーマ: 大大阪レトロナイト(朝日放送・柴田アナウンサーによる紹介)

大商さんでは大阪にある色んなレトロな建物を紹介し、新たな大阪の魅力を発信されています。その中で私が今回取材に行ってきました建物をいくつか紹介したいと思います。

最初に紹介する建物は、中央区伏見町にあります「芝川ビル」。1927年(昭2)に建てられた4階建てのベージュ色の建物です。特色は、当時アメリカで流行っていた中南米マヤインカを意識した装飾で、当時では珍しく耐震性、防火性に優れています。現在はテナントビル。各フロアは緑を基調とした、ヨーロッパの高級アパートを感じさせるつくりで、アンティークの時計屋、チョコレートショップなどが入っています。

次に紹介する建物は、中央区南船場にあります「堺筋倶楽部」。1931年(昭6)に銀行として建てられたポストモダニズムデザイン。重厚感あふれる石積みの外壁で、左右対称なのが特色の建物です。入り口を入ると天井まで10メートルもある吹き抜けの開放的な空間のイタリアンレストラン。壁には大きな金庫があり、中はワインセラーになっています。時計は、シンデレラのようにいつまでも夢が覚めないようにという意味を込めて11時55分で止まっています。2階と3階にも金庫室があり、ここは個室でフランス料理が楽しめます。4階は宴会場で結婚式などにも使われているそうです。

最後に紹介する建物は、肥後橋駅前にあります「山内ビル」。1933年(昭8)に法律特許事務所として建てられ、現在1階はカフェ、2階はバーになっています。取材に行った日、2階の Bar Pikoさんでは、ジャズの生演奏が楽しめるイベントを開催されていました。これは大商さんが主催している、「大大阪レトロナイト」の一環として開催されていて、定期的に行われています。「大大阪レトロナイト」では、他に大阪市中央公会堂や大阪倶楽部、ルポンドシエルのようなレトロビルで、ジャズやクラシック、シャンソンを聞いたり、フレンチやイタリア料理などを楽しんだりする、素晴らしい夜のひとときを演出してくれます。

この「大大阪レトロナイト」は8月5日に100回目を迎えました。その記念に大商さんでは現在、“写真イラストコンテスト”を実施しています。大阪市内37カ所のレトロ建築を題材にした写真イラストを9月30日(2011年)までに提出していただくと、優秀作品には大阪観光PR用の絵ハガキのデザインとして名前入りで採用されますので、ぜひみなさんも挑戦してみてください。

以上、「大大阪レトロナイト」についてお送りいたしました。